



平成29年5月22日(月)第69回広島県理容競技大会が広島市西区商工センター、タカラベルモント(株)ショールーム(1F、3Fスタジオ)にて開催されました。午前9時30分に緊張した面持ちで選手達は受付を済ませホッと一息の様子です。午前10時、加藤進大会実行委員長の開会宣言で開会式が始まりました。三住武大会委員長の挨拶があり、来賓を代表されて宮本千佳子広島県理容美容専門学校長より選手たちに向けて激励の言葉が贈られました。選手代表として弘岡功太郎選手が力強く選手宣誓しました。

今大会には全国大会3部門を含む全7部門に44名の選手が出場。10時45分、第7部門ワインディング(競技)で熱戦の火蓋が切られました。真夏を思わせる好天の下、競技会場内では額に薄っすらと汗を輝らせて懸命に競技をしている選手たちの姿はいつでも感動します。ギャラリーも何時しか汗ばみ、袖をまくっていました。緊張感が漂う中、各部門の競技も順調に進み熱き戦いも終盤を迎え、午後2時に全ての競技が終わりました。閉会式までの間ステップアップセミナーがあり、完成した作品を前に県講師からアドバイスがあり、手掛けた選手達は今後のレベルアップに繋げるべく真剣に聞き入っていました。

午後3時、期待と不安の中、閉会式が始まりました。審査を担当された県講師の紹介と

各部門の審査講評があり遂に表彰式です。名前を呼ばれるたびに歓声が上がり満面の笑みの選手「おめでとう」惜しくも入賞を逃した選手たちには悔しさの中に明日からまた再挑戦に挑む熱い眼差しがありました。

また、三住武大会委員長から2017年9月17~18日に開催されるバリ世界大会に参加する「全理連ナショナルチーム」の選手団9名の中に広島県勢から、西岡貴志選手と島本文子選手の2名が選ばれ、金メダルを目指して日々訓練していることを紹介されました。良き先輩達の姿を見習い「心と技」を磨き追いつき追い越す様頑張ってくださいとの言葉がありました。

こうして第69回広島県理容競技大会も無事終了しました。

今大会も「成功」の二文字で終わる事ができましたのも、運営に携わって頂いた青年部の皆様のご尽力、また女性部では美味しいうどん等を提供して頂くなど、ご支援ご厚情を賜りました皆様方のご協力のおかげです。紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

また、第1部門・第2部門・第3部門で優勝された選手の方は、全国大会に向けて、更なる技術を研鑽され輝かしい頂上に上られるよう期待しています。

文化広報部 川村 哲司

第69回 広島県理容競技大会の成績表



第1部門 クラシカルカット・ファッションカテゴリー

優勝 小島 広大 (広島東支部)

優勝者コメント

今回初めてのモデル競技だったので、すごく緊張しました。ご指導していただいた先生方、夜遅くまで協力していただいたモデルさんにはとても感謝しています。全国大会までに完成度を高めて良い作品をつくりたいと思います。ありがとうございました。



第2部門 レディースカット・パーマスタイル

優勝 西村 昌紀 (広島南支部)

優勝者コメント

今回、広島県大会で優勝させて頂きましてありがとうございます。いい作品ではなかったので、全国大会に向けて1から頑張りたいと思います。また、当日運営してくださいました組合関係者、講師の先生方、青年部の皆様には大変感謝しております。



第3部門 全理連ニューヘア『NEW HAIR gain-G』

優勝 田浦 宏光 (広島北支部)
2位 弘岡 功太郎 (広島西支部)

優勝者コメント

先ず、指導して頂いた先生方、モデルさん、協力応援して頂いた方全てに感謝です。県大会の作品を通して、自分の力不足を痛感しました。今は優勝の喜びよりも全国大会へ向けての危機感のほうが大きいです。ここからが本当の戦いですので、全力で頑張りたいと思います。ありがとうございました。



第4部門 ブロー

優勝 西部 昂太郎 (安芸支部)

2位 谷口 拳斗 (広島南支部)

優勝者コメント

私がワインディングという競技に本気で取り組もうと決意したのは、これまでの自分の周りの環境が大きく影響しています。私はずっとスポーツ競技を続けてきましたが、どの競技においても1番になることはできませんでした。周りの人達はどんどん結果を残していくのに対し、自分は結果を出せずに悔しい思いをたくさんしてきました。だから今度こそ最高の結果を手にするために、理容専門学校に入学する前から全国大会で優勝することを目標にして、日々の努力を積み重ねてきました。その結果が、今回の県大会優勝につながってくれたことは、本当に嬉しく思います。次の私の目標は、学生競技大会です。今回の優勝に満足することなく、一層の努力を積み重ね、今度は全国の学生チャンピオンになるために頑張ります。



第5部門 クラシカルバックスタイル・ドライヤー仕上げ

優勝 沖田 慎也 (広島北支部)
2位 高垣 翔太 (広島南支部)
3位 佐々木 大珠 (広島東支部)
敢闘賞 玉貞 健太 (安芸支部)

優勝者コメント

第5部門クラシカルバックスタイルで優勝させて頂き有り難うございました。とても嬉しかったです。これから人間性、技術力、共に成長し、一人前の職人になれるよう日々努力していきます。ご指導頂いた先生方に心から感謝いたします。



第6部門 クラシカルバックスタイル・ドライヤー仕上げ(セット部門)

敢闘賞 山路 幸大 (三原支部)



第7部門 ワインディング

優勝 沖野 幹勝 (理容学校)
2位 檀上 秀凶 (理容学校)
3位 星田 沙智子 (福山支部)
4位 西村 彩 (理容学校)
5位 岩本 彩花 (理容学校)
6位 秋元 大樹 (理容学校)
7位 吉本 力也 (理容学校)
8位 湊 晴生 (理容学校)

審査講評

第1部門 クラシカルカット・ファッションカテゴリー

●カット不足 ●整髪料の溜りが気になる

第2部門 レディースカット・パーマスタイル

●ネープのカット不足 ●カール又はウェーブ表現が不足している
●パーマ表現が出来ている作品もあったがエアリー感が無くフォルムが小さい
●毛先の処理が悪く艶がない ●全国大会に向けて完成度を高めてほしい

第3部門 全理連ニューヘア『NEW HAIR gain-G』

●全体的にゲインの雰囲気があり、よく理解されていた
●ネープ周りのカットは良かった
●ゲインが纏っているウェーブ表現やウェットの質感をもっと表現するよう研究してほしい

第4部門 ブロー

●フォルムの理解を今一度勉強してほしい ●刈り込み不足が見受けられる

第5部門 クラシカルバックスタイル・ドライヤー仕上げ

●フォルム、毛流れ、基本的な所を理解してほしい
●バックの崩き、面、ボカシ、ネープの処理をもっと綺麗にカットしてほしい
●一歩離れて、よく観測してほしい

第6部門 クラシカルバックスタイル・ドライヤー仕上げ(セット部門)

●基本的なフォルムや毛流を勉強して、ブラシを上手に使えるようにトレーニングしてほしい

第7部門 ワインディング

●全体的によくできていたが、左右のウィンドにおいて左右の割れがきになります
●Cカール部分のステムについて一考をお願いします
●モデルウィッグの汚れが気になります大切に扱って下さい

